

滋賀県労働者福祉協議会  
 日本労働組合総連合会 滋賀県連合会  
 近畿労働金庫滋賀地区統括本部  
 全労済 滋賀県本部  
 滋賀県勤労者住宅生活協同組合  
 滋賀県生活協同組合連合会  
 ユメディア株式会社

滋賀県労働福祉新聞

豊かなくらし

滋賀県労働福祉新聞  
 豊かなくらし 第696号(改題531号)  
 平成28年10月15日発行(毎月1回15日発行)  
 編集 大津市打出浜2番1号  
 コラボしが21 6階(〒520-0806)  
 発行人(社)滋賀県労働者福祉協議会  
 山田 清  
 TEL 077-524-6290・FAX 523-4070  
 URL http://www.s-rofuku.com  
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp  
 印刷所 ユメディア株式会社

びわ湖クリーンキャンペーンに3,225人

暑かったけど  
 がんばりました!

浜辺は美しく  
 なりました。  
 【高島】



お父さん、ここに  
 ゴミあるよ【大津】



大量のゴミを集めた  
 【守山野洲】



ゴミはここで  
 集めます【湖北】



今年はゴミが少ないね  
 【彦根】



さて、どこから始めま  
 しょうか【近江八幡】



幟を掲げて出発です  
 【東近江】



道路沿いにはたばこの  
 吸い殻がいっぱい  
 【草津栗東】




ここにゴミを捨てちゃ  
 いけないよ【湖南甲賀】

毎年9月第4日曜日に実施されているびわ湖クリーン  
 キャンペーンは本年も9月25日県下9地区(近江八幡地  
 区は9月24日)のびわ湖岸を中心とした河川敷、幹線道  
 路周辺で実施されました。当日は秋の長雨の切れ間で、蒸  
 し暑い日でしたが、参加者は汗をいっぱいかきながらの  
 作業となりました。昨今は地元の自治会、企業など多くの  
 団体が琵琶湖清掃に取り組んでおり、琵琶湖の周りは比較  
 的ゴミが少なくなってきましたが、私たち働く仲間も1975年  
 から県下で一斉に清掃活動に取り組むことにより、「びわ湖も  
 自然もマイホーム!ゴミは捨てない、持ち帰ろう」という環  
 境美化意識を県民にアピールしてきました

早朝からの作業にもかかわらず、親子連れも含め196

組合、3,225名が参加し、30ℓ~45ℓのごみ袋で621  
 袋(去年は634袋)のゴミを回収しました。ゴミの内容  
 は各地区によって異なりますが、台風による漂流物のほ  
 かに、バーベキューの網などレジャーゴミなどが相変  
 わらず多くあり、中でも各地区で増加傾向にあるのが、  
 ペットボトルでした。また、タイヤなどの不法投棄は若  
 干あったものの、家電などの粗大ゴミは行政の「不法投  
 棄禁止」の訴えが市民に浸透してきているためか、少な  
 くなっていました。

県下労福協組織では、年に一度のこの取組みを県や自  
 治体と連携をはかり琵琶湖と街並みを美しくする運動の  
 輪が広がるよう今後も積極的に取り組んでいきます。

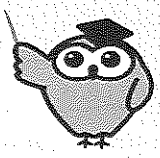


## 2016 生活底上げ 福祉強化キャンペーン

全国で展開中!

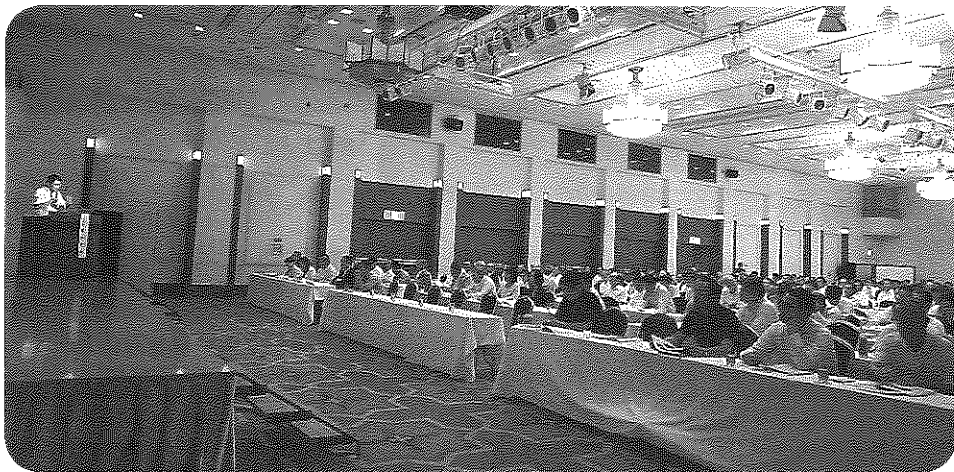
- 次世代を担う若者を追い込む雇用劣化と“奨学金制度”の改善を実現しよう!
- 生活・就労支援を強化し、生活困窮者を地域で支えよう!
- みんなで労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げよう!

滋賀県労働者福祉協議会



# 中央労福協 2016 年度全国研究集会

## 「あらゆる世代・層に広がる格差と 貧困を解消するために」



藤田孝典氏による講演「全世代に広がる貧困と生活困窮者支援」

9月8日と9日の2日間にわたり2016年度全国研究集会在札幌市で開催されました。全国の労福協を中心に300名が集い、開催主旨である現在の社会に広がる格差と貧困について学習しました。滋賀県からは県労福協及び地区労福協の役員14名が参加しました。

開会に先立ち、中央労福協神津会長より、「この研究集会を通じ、あらゆる層に広がる格差・貧困の状況を把握し、持続可能な社会を実現するために、地域・職域において労福協運動の柱である『共助機能』を発揮していきたい」との挨拶がありました。

最初の講演では中央大学法学部教授の宮本太郎氏が、孤立と困窮が全世代に広がり、旧来の生活保障の制度が対応しきれず、縦割りから横の繋がりを大切にしたネットワーク作りの必要性を訴えられました。次に2015年のベストセラー「下流老人」の執筆者、藤田孝典氏から、全世代に広がってきた貧困の現状の説明があり、特に今後貧困に陥ってしまうであろう若い世代を救うために労福協の力が必要との意見が述べられました。

2日目は、現在「ともに生きる地域づくり」を实践されている日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)の佐々木あゆみ氏より生活支援活動の紹介があり、しんぐるまざあず・フォーラム代表の平井照枝氏からは一人親家庭の現状報告がありました。

いずれの講演も日本社会のゆがみを物語る内容で、とても重いものでしたが、この研究集会で得たことを今後の労働福祉運動に繋げていき、特に10月から始まっている

「2016生活底上げ福祉強化キャンペーン」で地域に訴えていきたいと思いました。

(草津栗東地区労福協 会長 深草 茂)

### ろうきん人事異動

———滋賀地区の主な異動(前任職)———

10月17日付

【肥後橋本部】業務統括部 席専任役:飯田 美得子(守山出張所 所長)、総務人事部:村松 大輔(長浜出張所 営業担当主任) 【草津支店】草津支店 営業部門 店長代理:吉村 康利(守山出張所 営業担当主任)、草津支店 業務部門 主任:岡村 麻美(守山出張所 業務担当主任)、営業部門 主任:谷口 良太(営業職員) 【八日市支店】八日市支店 次長:西條 健(守山出張所 席専任役) 【長浜支店】支店長:松畑 誠(長浜出張所 所長)、次長:前田 満(長浜出張所 席専任役)、営業部門 店長代理:丸山 哲治(草津支店 営業部門 店長代理)、業務部門 店長代理:垣内 百恵(長浜出張所 業務担当主任) 【水口支店】支店長:近藤 敏也(水口出張所 所長)、次長:北川 弘美(水口出張所 席専任役)、営業部門 店長代理:小槻 肇(水口出張所 営業担当主任)、業務部門 店長代理:板垣 成美(水口出張所 業務担当主任)


## The 17th TSUGAYAMA WINE SEMINAR

「古き良き伝統文化的ワインと 新進気鋭の食中酒ワイン」をテーマに、ドイツワインを中心に、今最も注目されている醸造家のワインを味わってみたいと思います。秋が深まりゆく季節。ワイングラスを傾けながら、滲みこみながら耳を傾ける。そんなひとときを、お楽しみください。お食事と8種類ほどのワインをご用意して、ご参加をお待ちいたしております。

### つがやま ワインセミナー

日時:2016年11月6日(日曜日)  
18:00~20:30  
場所:ライズヴィル都賀山1F  
レストランカフェ ヴェルデュール  
参加費:3,000円 [食事・ワイン代含む]  
定員:約30名

一般財団法人守山野洲市民交流プラザ

 **Riseville 都賀山** 【JR 守山駅東口】  
守山市浮気町 300-24  
ライズヴィルツガヤマ

ご予約・お問い合わせは ☎ 077-583-7181

## 熊本地震被災地支援と 交流訪問に参加して

9月16日～19日かけて、近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度共通企画の熊本地震被災地支援と交流訪問をしました。往復フェリー泊でしたが30名の参加がありました。まだ被災地では、直下型に押しつぶされた家屋や、ブルーシートに覆われた家、舗装が波打つ道路が見られ、復興の目処が立っていないであろうと思われるところも顕在していますが、皆さん前向きに頑張っています。

今回の企画は、被災地で活動するNPOと連携し、「障がい者支援」「子ども支援」「高齢者・コミュニティ支援」の3つ活動テーマ別に、熊本市東区、益城町、西原村で活動を展開しました。

子ども支援チームは、被災した地域の方の居場所として機能してきた「よかましきハウス」閉鎖イベントの手伝いやだんご汁の炊き出しの他、地震後の子どもたちの様子の変化と、それに対応した地元のみなさんの話を伺いました。



「一緒に炊き出し用の  
だんご汁」制作中  
地元のみなさんと

高齢者・コミュニティ支援では、西原村の自宅再建を希望する方の家の片付けのボランティアへ。時おり激しい雨が降る中、自力で修繕を続けておられ、はがした外壁を、一般ごみとして処理できるものと産廃処理されるものとに分別する作業のお手伝いでした。

障がい者支援チームは、地震被害を受けた施設でのヒ

アリングのほか、公的な支援の枠組みから漏れてしまった障がい者の方の自宅の片付け活動をしました。福祉避難所の不足や、避難所での生活が難しい障がい者への支援不足などの課題がみられます。



が自宅再建のために  
作した外壁を分別に  
する作業のお手伝い  
は根気がいらいます

今回の活動に参加したことで、何気ない活動が人と人とを繋ぎ、災害時に役立つ話を沢山聞くことができました。災害時にも必要な活動は、普段からのお付き合いであることを改めて思いました。

(くらしサポートセンターしが 井出のり子)

### どんなボランティア活動があるのだろう・・・ 私にできるボランティアはあるのかな・・・

みなさんのそんな気持ちを大切にします。  
ボランティア活動についてのお問い合わせは下記まで



くらしサポートセンターしが  
TEL 077-522-2233 担当：井出  
(月曜～金曜 9:00～17:00)

### 参加者募集中!!

#### 第32回チャリティゴルフコンペ

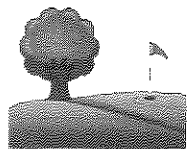
開催日：2016年11月1日(火)

会場：彦根カントリー倶楽部

問合せ先：

(一社)滋賀県労働者福祉協議会

TEL077-524-6290 担当：宇川



❖チャリティ金は被災地復興支援募金(日本赤十字社)や県内のボランティア活動支援(滋賀県社会福祉協議会)に充当します。

住まいのことなら

# 滋賀県住宅生活協

組合員のみなさまへのご案内

住まいに関するあらゆるご相談をお受けいたします。

たとえば・・・

新築住宅・中古住宅・賃貸住宅を探したい

今のお住いをリフォーム・建替えしたい

不動産を売却・購入したい

住宅ローンや金利について知りたい

相続や税金、登記について知りたい

遊休土地の活用を考えたい ...etc.

お気軽にご相談ください。

滋賀県労働者住宅生活協同組合 ☎ 077-524-2800

滋賀住宅生協 検索

http://www.shiga-jutaku.jp/

